

各種検体の採取方法

クラミジアトラコマチス、淋菌核酸同定検査の検体採取方法

子宮頸管



子宮頸部の粘液除去

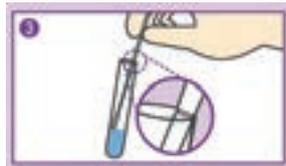
スワブ検体採取セット付属の粘液除去用ドライスワブで子宮頸管とその周辺の過剰な粘液を充分拭き取ります。

注意 粘液を拭ったスワブは廃棄します。



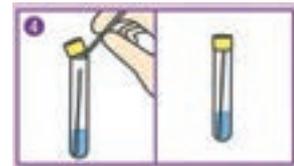
子宮頸管検体の採取

付属されている検体採取用フロックスワブを子宮頸管内に挿入します。同じ方向にそっと5回スワブを回します。(まわし過ぎないでください。) スワブを引き抜く際は膣の粘膜に触れないように注意してください。



子宮頸管検体の保存

コバスPCRメディアのキャップを開けます。採取したフロックスワブをコバスPCRメディアチューブに入れ、柄に付けられた黒い線を容器の縁に合わせてください。



コバスPCRメディアの容器の縁を利用して、キャップで黒い線をはさむようにして折ります。コバスPCRメディアのキャップをしっかりと閉めます。

注意 手元に残った折られた柄は廃棄して下さい。スワブの柄を折る際には絶対にはさみを使用しないで下さい。

■検体採取上の注意

- コバスPCRスワブ検体採取セット付属の検体採取スワブ以外は使用しないでください。
 - 検体に大量の血液が混入した場合は正しい結果が得られない事があります。
 - 粘液を十分除いてから検体を採取してください。
 - コバスPCRメディアには検体を採取したスワブのみ入れてください。
- スワブを保存したコバスPCRメディアは2～30℃で12ヶ月安定です。

■一般的な注意

- 子宮頸管検体を採取する前にスワブをコバスPCRメディアに浸さないでください。
- コバスPCRメディアの液体の飛散には十分ご注意ください。
- 検体を採取したスワブは速やかにコバスPCRメディアに入れてください。
- コバスPCRメディアは絶対に凍結しないでください。

検体採取容器

子宮頸管



スワブ(2本付)

子宮頸部の粘液除去用ドライスワブ(Ⅻ)
子宮頸管検体の採取用フロックスワブ(Ⅺ)

尿
うがい液



コバスPCRメディア

初尿・うがい後の液には
滅菌済みスポイトをご使用ください。

尿



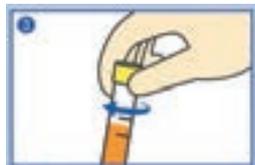
尿検体の採取

滅菌済み容器に初尿を採取します。滅菌済みスポイトを用いて、初尿をコバスPCRメディアに移します。

注意 初尿は採取後2～30℃で24時間以内にPCRメディアに移してください。



コバスPCRメディアに記載されている2つのラインの間に収まるように初尿を加えてください。



尿検体の保存

コバスPCRメディアの蓋をしっかりと閉めて下さい。



コバスPCRメディアを5回転倒混和させて下さい。

■検体採取上の注意

- 初尿はコバスPCRメディアに記載されている2つのラインの間に収まるように加えてください。
- 検体に大量の血液が混入した場合は正しい結果が得られない事があります。
- 初尿は2～30℃で24時間以内にコバスPCRメディアに移してください。

尿検体を保存したコバスPCRメディアは2～30℃で12ヶ月安定です。

■一般的な注意

- 女性の尿を採取する前は消毒しないでください。
- 月経中の患者からは尿検体を採取しないで下さい。
- 最後の排尿から少なくとも1時間以上経過していることを確認して下さい。
- コバスPCRメディアの液体の飛散には十分ご注意ください。
- コバスPCRメディアは絶対に凍結させないで下さい。

うがい液



うがいの仕方

生理食塩水(日局方など)をコップに15～20mL入れてください。生理食塩水15～20mLを口に含み、顔を上に向けて10～20秒間、勢いよく「ガラガラ」とうがいを行ないます。

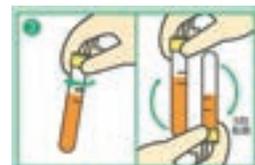
注意 口に含んで吐き出した液とうがい用容器に残した液を合わせてうがい液とします。



検体輸送液への懸濁

「うがい液」全量をうがい用容器に回収し、スポイトでコバスPCRメディア(尿・うがい用)に必要量添加します。

注意 「うがい液」はコバスPCRメディアに記載されている2つのラインの間に収まるように加えてください。



検体容器の保管

PCRメディアの蓋をしっかりと閉めて下さい。PCRメディアを5回転倒混和させて下さい。

■検体採取上の注意

- うがい液はコバスPCRメディアに記載されている2つのラインの間に収まるように加えてください。
- 検体に大量の血液が混入した場合は正しい結果が得られない事があります。

うがい液検体を保存したコバスPCRメディアは2～30℃で12ヶ月安定です。うがい液をPCRメディアに入れない場合は2～8℃で輸送してください。採取から10日以内にコバスPCRメディアに入れてください。

■一般的な注意

- 検体採取前の食事・うがい・歯磨き・ガムを噛むことなどは避けてください。
- コバスPCRメディアの液体の飛散には十分ご注意ください。
- コバスPCRメディアは絶対に凍結させないでください。